

TACHIKAWA REPORT

第78期 期末報告

2023年1月1日 ▶ 2023年12月31日



 立川ブラインド工業株式会社

証券コード：7989

経営者から皆さまへ

家庭に、企業に、都市の中に。

次代の生活文化を創造する、様々な事業を展開。

インテリア産業の一翼を担う企業として、

これからも時代を先駆ける活動を展開してまいります。

代表取締役社長

池崎久也



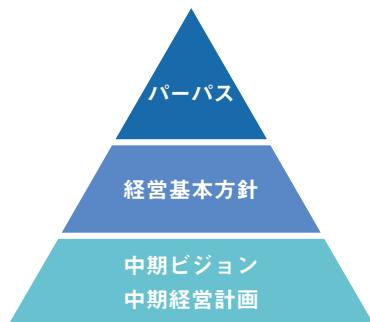
平素は格別のご支援ご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は2023年12月31日をもって第78期（2023年1月1日から2023年12月31日まで）が終了致しましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

当該期間の売上高は、駐車場装置関連事業が低調に推移しましたが、主力の室内外装品関連事業及び減速機関連事業においては前年を上回り、連結全体では前期比100.0%となりました。また、利益面につきましては、コスト低減活動や一部製品の価格改定等の収益改善に努めた結果、増益となりました。

当社グループは、2023年12月期から2025年12月期までの中期経営計画「タチカワビジョン2025～継続と進化～」を策定致しました。今後も建築物内外の生活環境の改善による社会貢献を継続しながら、「ものづくりとマーケティング」「経営基盤の強化」「サステナビリティへの取組み」に注力し、時代のニーズに応じて進化させてまいります。

2024年3月



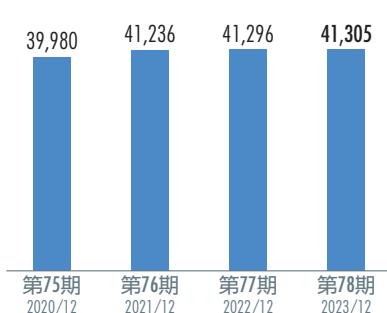
時代の要請に応え、住空間におけるインテリアを創造し、
美と憩いを通じて社会に貢献する。

- 建築物内外の生活環境の改善により、社会に貢献する。
- 品質及び価格で十分な競争力を有する製品を生産する。
- 主たる製品において、シェアの大半を占有する。
- 会社の繁栄と社員個人の幸福が一致する経営を行う。

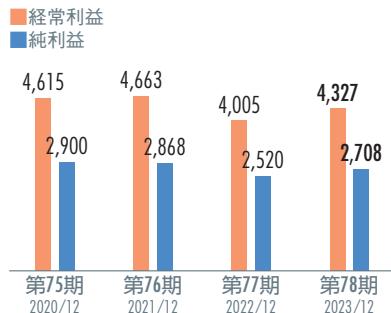
タチカワビジョン2025～継続と進化～

営業概況

売上高 (単位:百万円)



経常利益/純利益 (単位:百万円)



1株当たり純利益/ 1株当たり純資産 (単位:円)



決算のポイント

- **室内外装品関連事業**：顧客満足度の高い製品の開発および新製品発表会の開催等による新製品の市場浸透を促進。コスト低減活動や一部製品の価格改定等の収益改善に努め、増収増益。
- **駐車場装置関連事業**：くし歯式の強みを活かした営業展開により新規開拓および既設物件に対する改修提案や付加価値提案を推進。一方、新築工事の受注減少および資材価格高騰の影響等により、減収減益。
- **減速機関連事業**：顧客ニーズに応えた個別製品の開発による提案営業を進め、新規顧客獲得に注力するとともに、生産体制の改善等による収益獲得を実施。各種産業用減速機の受注が堅調に推移し、増収増益。

業績の見通し

室内外装品関連事業におきましては、「安心・安全・快適・環境・健康」をキーワードに、多様化するニーズを的確に捉えた製品開発に努めると共に、2024年9月竣工予定の技術研究棟を本格稼働させ、新たな技術、素材、製法等、幅広く研究を進めてまいります。

駐車場装置関連事業では、業界トップレベルの入出庫スピードや省エネ性、耐震性を誇る当社の「くし歯技術」の積極的な提案活動や既設物件に対する付加価値の高い改造改修提案を推進し、顧客満足度の向上に努めてまいります。

減速機関連事業では、当社の保有技術を活かした製品の差別化戦略や、新規に事業譲受したサーボモータ事業により物流・工場自動化設備等の成長分野においてシェア拡大を図ってまいります。

次期の業績は、売上高42,800百万円、営業利益4,180百万円、経常利益4,360百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,760百万円を見込んでおります。

期末配当金について

当期の期末配当金につきましては、1株につき24円とさせていただきます。これにより、1株当たりの年間配当金は36円（うち中間配当金12円）となる予定です。

次期におきましては、業績予想および配当の基本方針等を総合的に鑑み、1株当たり41円（中間配当金14円、期末配当金27円）を予定しております。

セグメント別概況

室内外装品関連事業

売上
構成比
83.1%

売上高
34,323百万円 (前期比 1.0%増)

営業損益
3,484百万円 (前期比 6.3%増)



安心・安全で快適な住空間づくりを目指す中、ヨコ型ブラインド『パーフェクトシルキー』や『シルキー RDS』等において、直射光の反射を抑えるスラットや需要が高まる遮熱性能を有するスラット等機能性が高いスラットを拡充すると共に、ライフスタイルに合わせて選べるカラーラインナップをリニューアルしました。さらに、2枚のレースの間にドレープを配した立体構造の調光ロールスクリーン『ルミエ』を新発売したほか、電動製品『スマートインテリアシェード ホームタコス』では、家庭内エネルギーを節約するための

管理システムとして近年需要が高まっているHEMS(ホーム・エネルギー・マネジメント・システム)に対応したアダプタの発売や電動製品共通の赤外線リモコンのリニューアルを行い、電動製品の更なる普及に努めました。

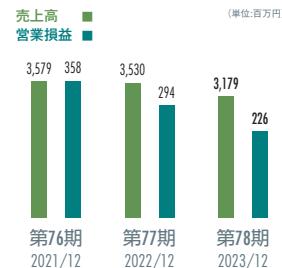
また、リフォーム需要や非住宅向け需要の拡大等、多様化するニーズに対応するため、『プレイス』『プレイス スウィング』に新たなラインナップを追加し、デザイン性と機能性の向上を図りました。その他、「タチカワブラインド新製品発表会」を4年ぶりに全国13会場で開催し、“これからの暮らしをかなえる”をテーマに、近年発売した当社製品を展示し、多様化するニーズに対応する製品を訴求してまいりました。

駐車場装置関連事業

売上
構成比
7.7%

売上高
3,179百万円 (前期比 9.9%減)

営業損益
226百万円 (前期比 22.9%減)



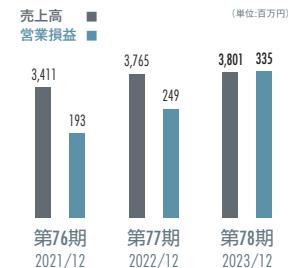
くし歯式の強みを活かした営業展開により新規開拓に取り組むとともに、既設物件に対する計画的な改修提案や付加価値提案の推進による受注の獲得と、高騰する原価管理を徹底することで、収益の獲得に努めてまいりました。

減速機関連事業

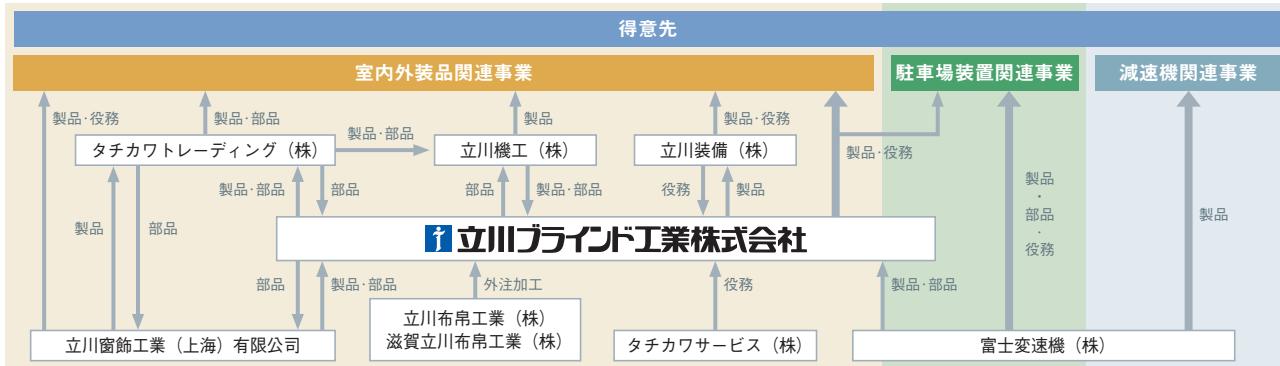
売上
構成比
9.2%

売上高
3,801百万円 (前期比 1.0%増)

営業損益
335百万円 (前期比 34.6%増)



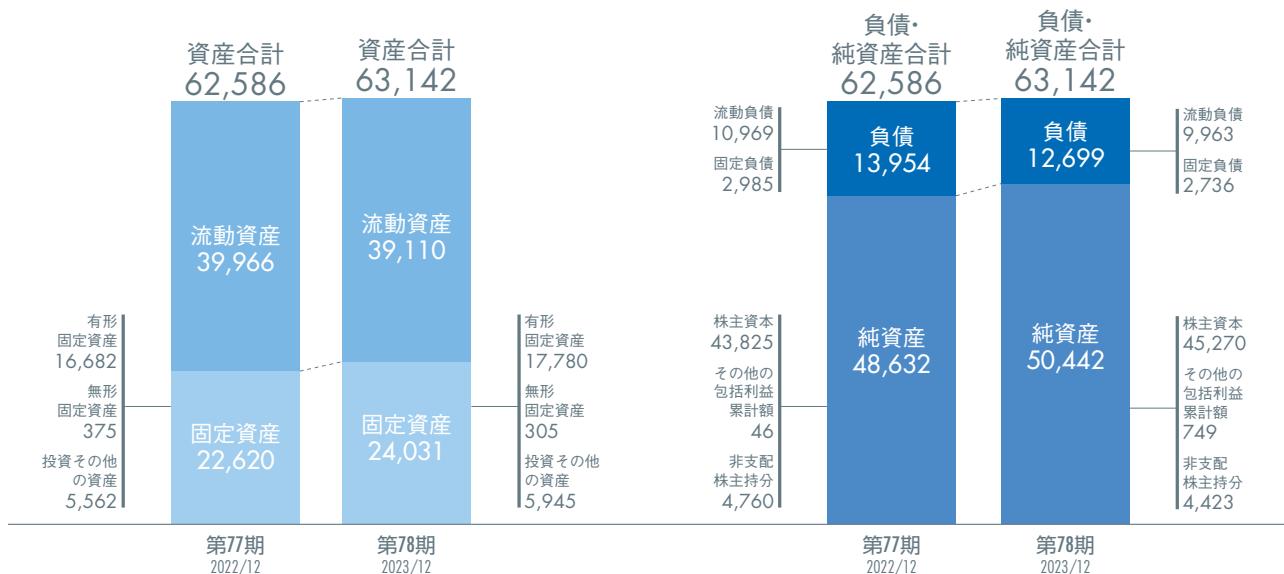
顧客ニーズに応えた個別製品の開発による提案営業を進め、新規顧客獲得に注力するとともに、原価高騰の影響下においても、生産体制の改善等により収益獲得に努めてまいりました。また、既存事業とシナジー効果が見込めるサーボモーター事業を2024年1月に譲り受けており、今後更なる減速機事業の拡大を目指してまいります。



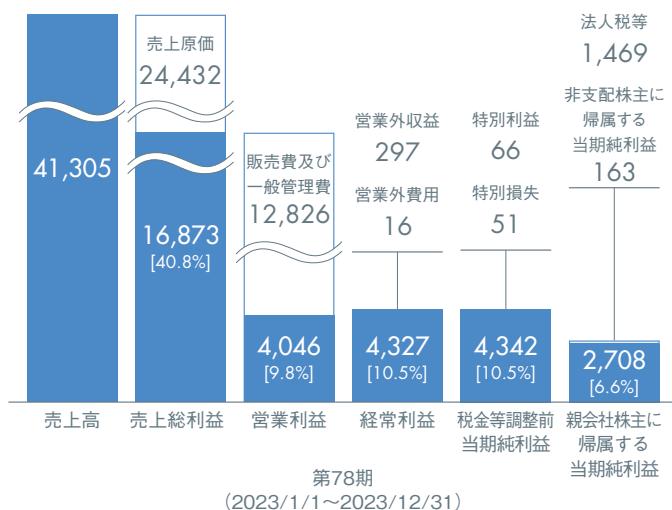
(注) 富士変速機(株)は名古屋証券取引所に上場しております。

連結財務諸表 (要旨)

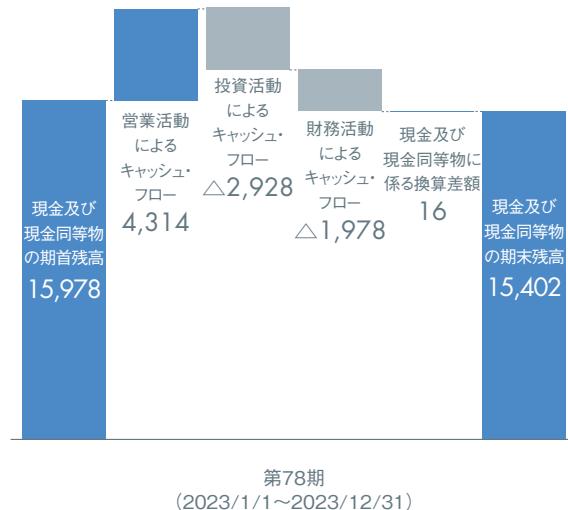
■ 連結貸借対照表 (単位:百万円)



■ 連結損益計算書 (単位:百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)



タチカワブラインドグループの事業展開

当社グループ(連結会社)は、当社および連結子会社8社で構成され、建築物の開口部、とりわけ窓まわり製品を事業の核とする建築内装品の総合メーカーとして室内外装品関連事業、機械式立体駐車場を扱う駐車場装置関連事業、変速機・減速機の製造販売を行う減速機関連事業の3事業を展開しております。

室内外装品関連事業

ブラインドや間仕切り製品を通じて、住宅やオフィス、公共施設など様々なシーンにおいて、人にやさしい快適な空間づくりの提案を行っております。「安心・安全・快適・環境・健康」をキーワードとし、製品開発を行っております。



強み

- 時代の要請に応えた、高機能・高付加価値な製品の提供
- 多品種・短納期のオーダー生産
- 地域に密着したきめ細かな事業展開

駐車場装置関連事業

限られたスペースを有効活用し、複数の車を駐車できる機械式立体駐車場を設計・製造しております。

強み

- 「くし歯式」による製品の高付加価値化
くし歯式は、車を乗せる「トレイ」が歯のような形状となっており、ハイスピードの出入庫や省電力(パレット式の1/2)、高耐震性が特長です。



減速機関連事業

産業機械の動力源を支える減速機を設計・製造し、産業分野から暮らしの分野まで幅広い分野で社会に貢献しております。

強み

- 「お客様の理想をカタチに」する、オーダーメイド製品の提案力・企画力
- 事業の安定性
幅広い分野へ供給しており、安定した収益基盤の構築に貢献しております。



サーボモータ事業の譲受について

2024年1月、既存事業とシナジー効果が見込めるサーボモータ事業を株式会社東光高岳より譲受致しました。

近年、市場においては生産・物流現場の自動化需要が旺盛であり、今回のサーボモータ事業の譲受により、今後更なる減速機関連事業の拡大を目指してまいります。

タチカワブラインドグループ 統合報告書2023を公開

2023年11月、「タチカワブラインドグループ 統合報告書 2023」を当社ウェブサイトにて公開しました。

本報告書では、タチカワブラインドグループの事業および製品・サービスを通じた中長期的な企業価値向上に向けた価値創造ストーリーをお伝えするとともに、中期経営計画「タチカワビジョン2025～継続と進化～」やESG（環境・社会・ガバナンス）に関する重要課題解決に向けたサステナビリティの取り組みなどを紹介しています。

主な内容

1. タチカワブラインドグループとは

タチカワブラインドグループのパーパス・経営基本方針・ビジョン、大切にしている価値観、価値創造のあゆみ、事業概要等を紹介。

2. 価値創造ストーリー

トップメッセージをはじめ、価値創造プロセスとともにサステナビリティ基本経営やマテリアリティ（重要課題）解決のための対応策・目標等を掲載。

3. 戦略（中期経営計画）

サステナビリティの実現に向けた2025年までの戦略（中期経営計画）を説明。

4. サステナビリティ（ESG）の取り組み

環境・社会・ガバナンスへの主な取り組みを紹介。

5. 会社データ

コーポレートガバナンス体制や財務・非財務データ、会社概要等を掲載。

タチカワブラインドグループは、今後も経営基本方針の一つである「建築物内外の生活環境の改善により、社会に貢献する。」を大切な価値観として、株主・投資家をはじめとする幅広いステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを大切にしながら、継続的な成長と持続可能な地球環境・社会の実現を目指してまいります。



「タチカワブラインドグループ 統合報告書2023」

https://www.blind.co.jp/_assets/img/company/sdgs/index/integrated_report2023.pdf

詳しくはこちら



タチカワブラインドウェブサイト 企業情報「サステナビリティへの取り組み」

<https://www.blind.co.jp/company/sdgs/>

詳しくはこちら



「タチカワビジョン 2025 ～継続と進化～」達成に向けた取り組み

3つの基本方針である「ものづくりとマーケティング」「経営基盤の強化」「サステナビリティへの取り組み」に注力し、持続可能な社会の発展と企業価値の向上に向けて取り組みを進めてまいります。

ものづくりとマーケティング

マーケティングの継続・進化

- 安心・安全・快適・環境を基本とした製品開発と販売促進
- 電動製品、間仕切り製品による新たな快適な住空間の提案



13年ぶりにスラットカラーをリニューアル

インテリアや6つのライフスタイルのイメージに合わせて選べるスラットカラーは、省エネ性やメンテナンス性にも優れた、全257色の充実のラインナップです。

- リアルとデジタルを融合させたマーケティングの強化
- 利益体質強化に向けた基盤づくり



窓まわりの電動製品「スマートインテリアシェードホームタコス」がHEMS※に対応

HEMS機器での操作を可能にすることで、窓まわりから省エネや暮らしの「安心」「安全」「快適」をかなえます。

※HEMS(ヘムス):Home Energy Management System(家庭で使うエネルギーを把握、管理することで節約するための管理システム)

これからの暮らしを 新製品発表会 2023 かなえる



4年ぶりに新製品発表会を全国13カ所でリアル開催

“これからの暮らしをかなえる”をテーマに、新製品や電動製品、間仕切り製品を中心に、多様化したニーズに応えるこれからの暮らしをご提案しました。



Instagram公式アカウントで
窓まわりや間仕切り製品の魅力を発信中！

技術革新

- 技術研究棟の新設と活用
- メーカーとしての開発基盤強化

2024年、技術研究棟竣工予定

生産体制の強化

- 生産拠点の整備
- 拠点毎の生産品目の見直し

2025年、札幌製作所移転予定



滋賀工場塗装棟
生産拠点を分散化しており、配送効率向上と災害による事業停止リスクを低減しています。

経営基盤の強化

戦略に必要な人材の確保と育成

- 人材確保と社員育成
- 社員の多様性拡大、健康経営の推進

計画的な事業拠点整備

- エリアマーケティングの強化に向けた事業所の最適化
- 職場環境の整備
- 環境対策



関東支店移転



関東ショールーム開設

サステナビリティへの取組み

環境 (E)

環境負荷低減、
気候変動問題への対応

社会 (S)

快適な住空間の提供、
働きやすい環境の構築

ガバナンス (G)

グループガバナンスを
重視した経営

温室効果ガス排出量を2030年度までに2021年度比30%削減する目標を設定し活動しています。

詳しくは
こちら



中期経営計画

業績目標

	2023年12月期 業績	2025年12月期
売上高	413億円	445億円
室内外装品事業	343億円	371億円
減速機事業	38億円	41億円
駐車場事業	31億円	33億円
営業利益	40億円	44億円
経常利益	43億円	46億円
当期純利益	27億円	29億円

株主還元の強化

- 減配はせず、配当水準を維持または増配を継続
- 2023-25年の中期経営計画期間中は、年5円増配を継続
- 将来的には、増配を維持し、経営環境に応じ自己株式の取得を進めることで総還元性向50%の実現を目指す

1株あたり配当



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

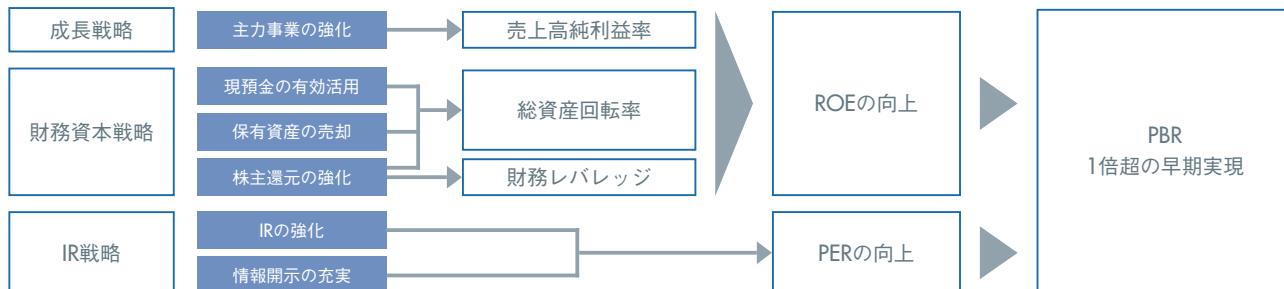
PBRの改善は当社の重要な経営課題の一つと認識し、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応を進めています。

● 成長戦略・財務資本戦略 (ROEの向上)

- ・ 主力事業の室内外装品関連事業のさらなる強化
- ・ 現預金の有効活用や保有資産の売却、株主還元の強化

● IR戦略 (PERの向上)

- ・ 決算説明会や投資家向け説明会、IRミーティングの実施
- ・ サステナビリティの取組み強化や非財務情報等のIR情報の充実



暮らしのあらゆるシーンへ人に優しい快適を。

家庭に、オフィスに、街の中に。

タチカワブラインドは、人に優しい快適な環境づくりをお手伝いする多彩な窓まわり・間仕切製品をお届けいたします。すべてのお客さまの笑顔のために、安心して楽しんでいただける空間を提供してまいります。

当社は、ブラインドやロールスクリーン、間仕切といったインテリア製品による光と空間の演出を通して、住宅やオフィス、公共施設などさまざまな空間へ快適さの輪を広げています。

HOME

光を演出し、お部屋をコーディネート

リラックスでき、快適さを実感できる空間を追求



ヨコ型ブラインド
「パーフェクトシルキー」



調光ロールスクリーン
「ルミエ」

OFFICE

高度化するビジネス空間をもっと快適に

オフィスで働く人たちが仕事に専念できる環境づくりを提案



東京ミッドタウン八重洲
八重洲セントラルタワー

主な納入製品

- 電動ヨコ型ブラインド
「ローリー-ESSタコスII」
- 電動ロールスクリーン



読売テレビ 新社屋

主な納入製品

- 電動ヨコ型ブラインド
「ローリー-ESS半外装タコスII」
- 電動ロールスクリーン 他

PUBLIC

公共施設にふさわしい快適性を追求

ホテル、学校、病院など、公共施設への納入で確かな実績



教育・医療施設

ロールスクリーン
「ラルクシールド」



福祉施設

間仕切
「プレイス」

新製品のご紹介

2023年7月

調光ロールスクリーン

「ルミエ」

「ホームタコス ルミエ」

ファブリックの美しい意匠性と、採光や眺望を自由にコントロールできる機能性を兼ね備えた調光ロールスクリーン「ルミエ」を新発売しました。2枚のレースの間にドレープを配した立体構造で、プライバシーを守りながら、日射しをやわらげて、やさしい光をお部屋に採り入れることができます。

リモコンやスイッチで簡単に操作ができる、窓まわりの電動製品「ホームタコス ルミエ」にも対応しています。

新発売

GOOD DESIGN AWARD
2023年度受賞

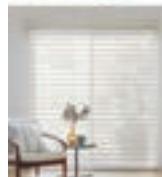


ルミエ

採光するとき



光や視線を遮るとき



ドレープの角度を調整し、採光できます。

2023年10月

間仕切

「プレイス」

「プレイス スウィング」

コロナ禍を経て堅調にニーズが拡大している間仕切「プレイス」と「プレイス スウィング」をリニューアルし、住宅・非住宅の幅広いシーンでお使いいただけるようになりました。新たな採光窓として、スモークをラインナップ。

トレンドであるブラックを使用したインテリアにも合う上品でシックな印象を与えます。

リニューアル



プレイス スウィング (採光窓「スモーク」)



木の温かみを感じる木目調のフレームカラーも拡充

※採光窓「スモーク」は、空間の明るさや使用環境により、見え方が異なります。



窓まわりや間仕切り製品などのお役立ち情報を発信中！

- タチカワ製品を取り入れたお部屋を見てみたい！
- 可動式のパネル間仕切をお部屋に取り入れるには？
- 窓まわりの断熱のポイントは？
- ブラインドのお手入れってどうするの？



タチカワブラインドのウェブサイトでは、
製品選びやインテリアをもっと楽しむための情報を
タチカワ製品の魅力とともにお伝えしています！

タチカワブラインド
ウェブサイト

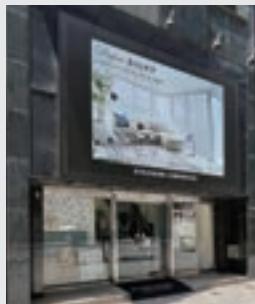


ショールームのご案内

GINZA 銀座

タチカワブラインド銀座ショールームでは、お客様に満足いただけるよう、豊富なインテリアの知識をもったスタッフが、新製品の紹介をはじめ新しいコーディネート提案など、窓まわりや間仕切り製品のいろいろな可能性をお伝えしています。

「バーチャルショールーム銀座」では、銀座ショールームに展示している製品をWeb上でご覧いただけます。



〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-15 青柳ビル TEL (03) 3571-1373

営業時間 10:00~18:00 定休日 月曜・祝日(土・日曜除く)

アクセス JR・銀座線新橋駅より徒歩5分/銀座4丁目交差点より徒歩8分

ショールーム・ディスプレイスペース一覧

- 銀座ショールーム
- 札幌ショールーム
- 仙台ショールーム
- さいたまショールーム
- 横浜ショールーム
- 名古屋ショールーム
- 大阪ショールーム
- 広島ショールーム
- 福岡ショールーム
- 新潟ディスプレイスペース
- 金沢ディスプレイスペース
- 上海ショールーム

詳しくは
こちら



高松ディスプレイスペースは、2024年1月31日をもちまして閉館致しました。これまでご愛顧を賜り誠にありがとうございました。

会社の概要 (2023年12月31日現在)

■ 会社の概要

社名	立川ブラインド工業株式会社
英文社名	TACHIKAWA CORPORATION
創業	1938年(昭和13年)5月
設立	1947年(昭和22年)10月
資本金	44億7,500万円
国土交通大臣許可	内装仕上工事業(般-2)第5037号 建具工事業(般-2)第5037号 機械器具設置工事業(般-2)第5037号 建築工事業(特-2)第5037号
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場
証券コード	7989
本社所在地	東京都港区三田三丁目1番12号
電話番号	(03) 5484-6140
ホームページアドレス	https://www.blind.co.jp
従業員数	連結1,289名 単体828名 ※パート・契約社員等を除く

■ 営業品目

区分	品目の内容
ブラインド類	ヨコ型ブラインド、タテ型ブラインド、 天窓用ブラインド、ロールスクリーン等
間仕切類	アコーディオン式間仕切、パネル式間仕切
その他	カーテンレール、製品取付、その他

■ 連結会社

国内	
富士変速機株式会社 岐阜県岐阜市	タチカワトレーディング株式会社 東京都港区
立川機工株式会社 千葉県山武市	タチカワサービス株式会社 東京都港区
立川装備株式会社 東京都渋谷区	
立川布帛工業株式会社 新潟県五泉市	
海外	
滋賀立川布帛工業株式会社 滋賀県愛知郡愛荘町	立川窗飾工業(上海)有限公司 上海市嘉定区

■ 取締役および監査役 (2024年3月28日現在)

代表取締役会長	立川光威
代表取締役社長	池崎久也
常務取締役	小野寿也
取締役	立川孟視
取締役	佐藤弘
取締役	藤堂孝夫
取締役	田中久晶
社外取締役	宮本實
社外取締役	加藤昌子
社外取締役	後藤英夫
常勤監査役	栗原斉
社外監査役	芹澤真澄
社外監査役	齊藤次郎

■ 当社ネットワーク

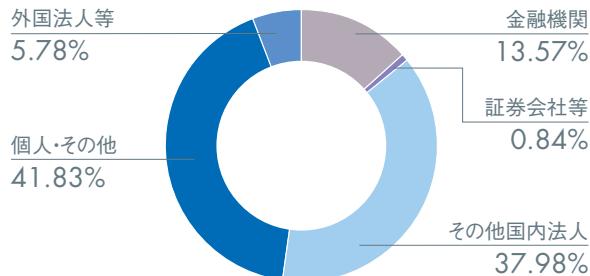


株式情報 (2023年12月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	20,763,600株
株主数	7,651名

所有者別持株比率



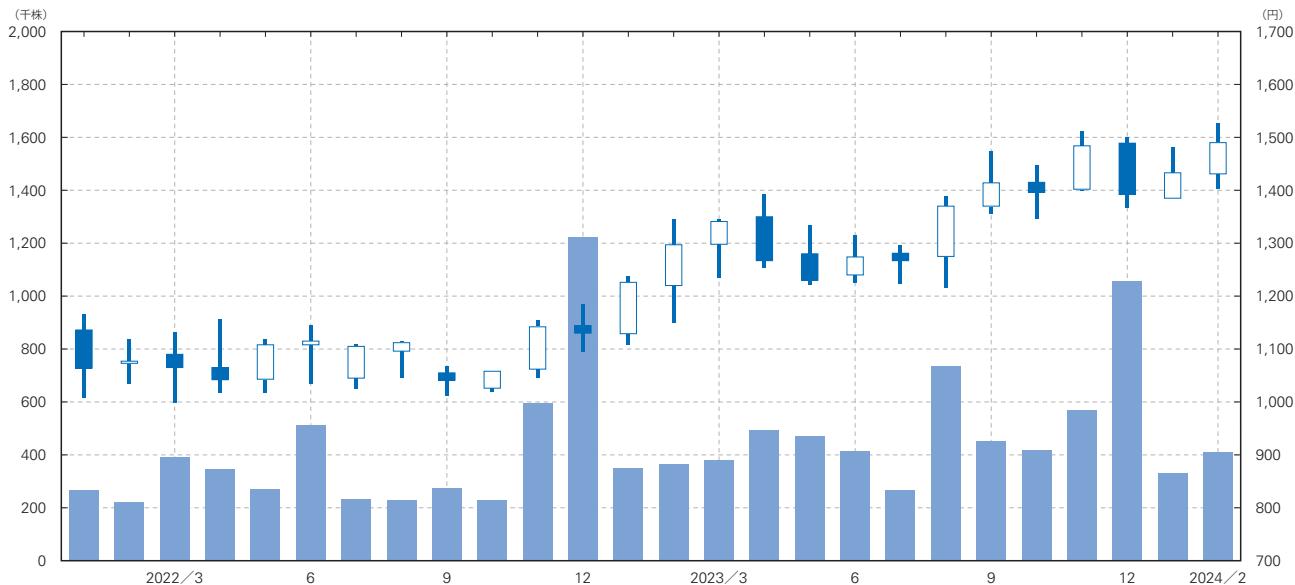
大株主および持株数(上位10名)

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
有限会社立川恒産	4,117	22.21
タチカワブラインド取引先持株会	1,879	10.13
更生保護法人立川更生保護財団	1,331	7.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,020	5.50
立川 光威	498	2.68
株式会社三菱UFJ銀行	402	2.17
株式会社りそな銀行	360	1.94
日本生命保険相互会社	355	1.91
タチカワ社員持株会	280	1.51
東リ株式会社	210	1.13

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。

(注) 2. 当社は自己株式2,188千株を保有しておりますが、上記の表には記載していません。

株価および出来高の推移



インフォメーション

■ ホームページのご案内

当社ホームページでは決算短信などのIR情報や、当事業や製品・サービスなどさまざまな情報を発信しております。



<https://www.blind.co.jp/>



■ 株主メモ

事業年度 1月1日～12月31日
定時株主総会 毎年3月
定時株主総会基準日 12月31日
剰余金配当基準日 12月31日(期末配当)
6月30日(中間配当)
公告方法 電子公告によります。
公告掲載URL
<https://www.blind.co.jp/koukoku/>
※事故その他のやむを得ない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座管理機関 日本証券代行株式会社
単元株式数 100株

郵便物送付先・お問い合わせ先

株主名簿
管理人

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711(フリーダイヤル)
ホームページアドレス <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

特別口座
管理機関

〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部
☎ 0120-707-843(フリーダイヤル)
ホームページアドレス <https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

立川ブラインド工業株式会社

〒108-8334 東京都港区三田三丁目1番12号
電話 (03) 5484-6140



この報告書は、環境に優しい植物油インクを使用して印刷するとともに、計金を使わず「ECO紙」にて製本しています。

■ 株主優待のご案内



[優待内容] クオカード(イメージ)

オリジナルクオカードの贈呈(100株以上保有の株主様)

基準日: 12月末日(年1回)
保有株式数・保有期間に応じて、オリジナルクオカードを以下の通り贈呈いたします。

保有株式数	保有期間	3年未満	3年以上
100株以上	300株未満	500円分	1,000円分
300株以上	500株未満	1,500円分	2,000円分
500株以上	1,000株未満	3,000円分	4,000円分
	1,000株以上	4,000円分	5,000円分

登録情報(ご住所、配当金振込先など)の変更、その他諸手続きについて
一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取り扱いしております。
特別口座の株主さまは、特別口座管理機関 日本証券代行(株)へお問い合わせ下さい。

配当金の受取りについて

配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持ち下さい。
また今後、銀行振込をご希望の方は、お取引口座のある証券会社等または特別口座管理機関 日本証券代行(株)へお問い合わせ下さい。

未受領の配当金の受取りについて

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行(株)証券代行部までお問い合わせ下さい。

単元未満株式(100株未満の株式)の買取・買増請求について

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取り扱いしております。
特別口座の株主さまは、特別口座管理機関 日本証券代行(株)へお問い合わせ下さい。

特別口座から一般口座への株式振替のお願い

特別口座管理機関 日本証券代行(株)へお問い合わせ下さい。

注) 特別口座のままでは市場において株式を売却することはできませんので、必ず証券会社にて一般口座を開設(既に開設されている場合不要)し、特別口座から一般口座へ振替申請を行って下さい。